いわき民報
發行所 平市田町48 電話381・176 社
いわき民報 印刷兼發行人 登田原
編輯

土木建築請負
製材 製函
平土地住宅 有限會社
社長 正木昌次郎
平市ネギ町三八
電話一〇一〇番

信保協會に炭業加入要望
炭鑛金融協議會設立
會長に齊藤石炭局長

平地方炭鑛金融協議會發起人會及び第一會協議會は六日平石炭局に開き、同協議會設置要綱案に就き檢討したが、委員會の運營を强化するため參與を拂し、委員長に齊藤平石炭局長を選任、同協議會の主要な實務である炭鑛の個個的な融資に對する各市內銀行らの資料要請に對してどの程度の資料を提供するかとの問題（資格の決定は行わない）に就いて協議したが重要事項であるとしては次回に持越し檢討することになった

なお信用保證制度に對する態度は、各縣の信用保證協會に石炭鑛業を加入させるため、その資金の增加擴充を計り受入れ態勢を强化する樣各縣に要望することに意見の一致をみた、同協會委員次の通り

◇縣經濟部長鬼丸勝文◇茨城縣經濟部長蛯澤高一郎◇日銀福島支店長岩城一◇勸業銀行平支店長嘉悅龍雄◇七十七銀行庄子武兵衞◇富士銀行菅沼富彌◇東邦銀行引地豐吉◇常陽銀行中澤考三◇東部石炭協會專務理事清宮一郎◇常石社長渡邊勇彥◇加藤興鑛福島出張所長

兩者の主張喰違い
團體交涉七日に持越し

六日午後一時から本社樓上に開いた七月以降（十二月迄）新賃金要求の團體交涉は炭勞側の主張する賃金交涉成立迄の經過措置として原則的に四一六賃金＝坑內三六三円坑外二一六円（稅込）＝を實施してもらいたいとの要望に對し經營側では九月十六日を以て公團廢止即迄は四—六月賃金による支給は順調にいつたとしても十六日以降からは炭業界の大變革に伴い自賃能力の見透し等樹たない情勢に遭遇してその儘四—六月賃金の支給は困難であるから各山毎の協約にまかせて交涉成立迄の經過措置としたいでない

△△△△△

ヨットクラブ
九日に發會式

かねて會員募集設立準備中だった磐城ヨットクラブでは來る九日午後一時三十分より平市三丁目ニュードレスメーカー學院で發會式を行うことになった

現在までの正會員二十五名準會員二十五名で當日バッチ及會誌が配布される

「商業祭」打合
決る

「商業祭」打合會は六日夜本社ホールに田口商工研究會員外委員參集在平記者團を招待して開き、行事內容、スケジュール、役員其の他を發表し記者團より希望意見交換有意義だった、スケジュールは

十三日は市內各商店宵飾付特賣サービスデー、十四日はサービスデー並に假裝宣傳デーとする

假裝宣傳隊は十四日午前九時

練り隊傳宣裝假
行事祭業商

平驛朝の混雜解消
午後四時頃學生列車を增發

石城町村長會では平驛朝のラッシュアワーの混雜を防ぐため樋口會長、山崎內鄕町長、橋本事務局長らが四日國鐵水戶管理部に陳情した結果、午前七時四十五分平着上り列車を十分おくらせて上、下兩列車の同時着驛を防ぐとともに午後には四時前後に平、島狹間に學生列車を一本增發することになった

戰時債券でも結構
共同募金に獻きます

共同募金は戰時債券でもけっこうです、と平市では一般に呼び掛けている、古い眠っているこの紙片は次のような適正價格で、この際處理するには共同募金にと要望している譯である

△五円、七円五十錢券（十円、十五円券）三十円券の順△貯蓄債券四円八十錢（九円九十錢）△戰時貯蓄債券四円三十錢（八円九十錢）十九円二十錢△戰勝貯蓄債券、戰勝國債券四円（八円三十錢）△右の割增金支拂濟のもの三円二十錢（六円九十錢）△福券（四円三十錢）

四つ汲て
共募金完納

平市四ツ波では六日副當になった千七百七十三円の共同募金に對し二千三百七十四を市社會課に拘出た、全區の擔當民生委員は鈴木利一氏でこれが一丁目、二丁目、白銀町續く四番乘りである

共謀て金庫破り
現行中を逮捕さる

關田字北作大日本勿來炭鑛勿來察に忍び込み同炭鑛社長岩川與助氏（六五）の室から衣類十四萬時價五万円相當を盜み更に金庫を破って物色している所を窃行中の勿來署員が發見現行犯として逮捕した

母子運動會
九日に變更

平隣保館の母子運動會は九日盛會が豫想されている

好間第二小
記念健康祭
八日擧行

好間第二小學校の創立六十週年記念健康祭前に敬老會は八日午前八時から全校で開く

レクリ理事會
八日夜開く

平市レクリ協會では明八日夜本社ホールに理事會を開き昭和二十四年度秋季レクリ週間第二回打合せを行う

所得の申告
ポスターで宣傳

平稅務署では本年度所得稅の十月繰延申告の期日をひかえて六月と同樣各地で說明會を開く計畫を樹てているがとりあえずポスター等によって廣く一般の昂揚心をうながすことになった

先生の野球
八日に大會

敎組主催福通り地區各學校敎員の野球大會は八日午前十時から磐高グランドで開催、參加チームは平、石城、相馬、双葉の四チーム

校外寫生
十日三小で

平三小校では十日全校生の校外寫生を行う

新聞週間に寄せて
記者生活の回顧
（三）田原登

話は逆戻りするが、在福當時の知事は川瀨俗馬、小柳牧衞伊藤憲八郎、川崎末五郎時代で此の間にもう一人居た、名は忘れたがこの知事が着任早々縣廳玄關の自轉車は見苦しいから片づけろとか、禮儀がなってないとか、やかまし屋で紛々たる官僚臭の親父だったのでわれわれ縣政記者クラブの連中の間題となり河野威仲先生を生んだ民權自由の本縣知事としてはまことに不適任だと云うことになり政友會內閣當時ではあったが、その機關紙であった福島民報も大勢のおもむく處万已むを得ないと贊成し知事排擊の火の手をあげクラブ會議で決議して仕掛った、首にすることは可愛想だから栄轉を望むと云う決議でこれが一齊に各紙に掲載されると共に關係方面に運動した結果、かれは在任僅か一、二ヵ月で首になり盛岡電燈會社に入った新聞の偉力の大であったことを知ると共にこれも特筆すべき事件であった、安積疏水疑獄事件も亦、橋本、根本兩貴族院議員を始め縣市會議員疏水議員等廿數名が連座した大事件で縣民の耳目をしょう動したものだった

◇——◇

郡山は市政布かれ大森初代市長は在任僅かにして死亡、二代目は沖繩縣知事であった和田潤氏であった、彼れは宮田光雄の兒分で着任のその日反對派の民政黨の院外團に多數押掛けられて投石されたり浪藉を極めて引揚げたが、氏は押入の中にかくれて難をのがれた、新興都市はどこも同じだそうで有志の憂慮の荒いこと、口の惡いことに先ず驚いた、此處で私も惡口をたたくことを覺えたようだ、市會の亂鬪は名物の一となりその傳統は今でも續いているようだが、昨日の敵は今日の味方となり、新聞記者がうるさいからと夜中の午前一時を期し緊急市會を開くと云う突梅でわれわれの手許に市會を晩く通知が午前一時頃小使さんが持って來る、早速掛けつけて見るともう市會は終りたと云う、亂脈極まりない、その頃時事の社長は武藤山治で東京市會の淨化運動を起し、われわれにも市會淨化の運動を起せと命令してあったので、同志を糾合して市政の暗黑面を書き初めた、これが動機となって私の在任六年の間に三回に亘り市會疑獄が司直の手によって解剖され途に市會の主なる連中五、六名が福島の孤塚にたたき込まれた安積中學の佐藤先生はその時大へん喜んで『贈雪を一掃して月こそ』の詩を作り發表したので彼等からにらまれて困ったと云うこともあった

何しろ市會で決議した汚職の原簿を科學に持こんで反對派の者に多く賦課したりこれが有名な汚職事件であった、張本人は星勇でかれは盛一點張りの行き方をしていて兒分共が彼を擁立して立候補し刑務所の中で最高點で當選したほどの人氣者、いくら惡く書かれても一向平氣な男でその度胸の廣い、と云うか無神經と云うか、鈴木辰三郎市長に似ているとむしろ感服ものである

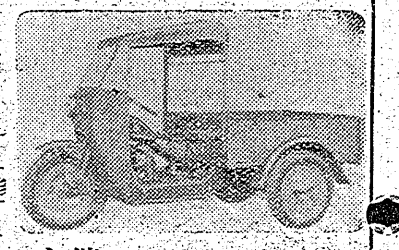
◇——◇

さて時事新報の編集方針は伊藤正德編集長のロンドンタイムス式で機敏第一主義と云うかその頃流行のエログロ方面は見向きもしないで眞面目一點張りの行き方をしている間に他紙はぐんぐん伸び、時事はさっぱり發展しない、武藤山治社長になって方針をかえ着着發展向上の曙光が見え初めた頃兇漢に狙撃されて武藤社長は死亡、每日新聞から來た鹽田久吉氏が事實上の經營をしたが昭和十一年十二月廿五日の株主總會で僅か五分間であつけなく潰れて仕舞った、われわれは宮城前の本社で爭議に入り時事を長年面倒見てくれた千代田生命の社長角野幾之進邸迄驅け付けて角野老に陳情書を手交すべく連日連夜爭議員交代で待ったが姿は遂に見えず、十二年の元旦朝日の上り初めた頃この家で「ホタルの光」を歌って勞約解散式をあげたり、もう新聞記者はこれでやめて鄕里で炭商人でもやろう等と考えて郡山に歸った

天気予報
七日

【今晚】北寄りの風曇り勝で時々晴間のある天氣です

【明日】も北寄りの風曇勝の天氣で時々晴間がありましょう、海上は多少波立ちます

ダイハツ 號大型三輪自動車
展示會
期日 10月9 10 11日3日間
場所 平市三町目大通り
出品車 ダイハツ號ライトバン
幌付及特殊塗裝車各種
＝ダイハツの特長＝
1 强大な馬力が出るのに 燃料消費は僅少
2 どんな無理にも耐える 强靱なフレーム
3 構造簡潔 素人でも修理可能
4 部分品が豐富 即時取替OK
5 無駄のない設計は 積載量を增大する
以上の要件を具備した此の三輪車は營業用に自家用に必ず皆樣の御滿足に價する理想車です
お慰み旁々御遊覽の程御待ち申上げて居ります
（會津方部の方は長尾モーター商會よりお買求め下さい）

主催 株式會社 昭和モーター商會
福島市中町9電1041番
濱通販扱店 みつわモーター商會
（登加藤モーター）平市三ノ五六 電話五四五番

銀座蓄燃焼器 時田式 鋸屑薪燃焼器
暖房用・炊事用七種類
今年もどうぞよろしく御願いしま
待望久しき新型の風呂釜の偉力を御試用下さい 自由價格の石炭もタダの木屑には遠く及ぶべくもありません
平市五丁目 釜屋商店

終映日迫る！10日まで
大好評にて絶對的娛樂篇!!
兒盜幻組を求めて
平次八百八町
錢形平次捕物控
久し振りにお家族連れで樂しめる映畫
お子樣方もお年寄りの方もお見逃しなき樣
十一日より『銀座カンカン娘』上映
東宝 平東宝

一流會社製品の特約
蛇の目 コントロール ミシン パイン
ニセものが浮山ありますから御注意下さい
平地方特約店
草野ミシン商會
平市南町 九（電九六〇）

ジャケット オーヴァー講習會
古いジャケット、オーヴァーも一寸の工夫でニュールックとなる
十月十五日より二カ月間晝、夜
實用とロマンチックの（文化式）
平デザイナー洋裁研究所
平市紺屋町十橋通り（マルマン）電四六九
お忙しい方々のための夜間部
毎月一日入學日 期間、敎材＝自由 個人指導（ミシン、ライト、腰掛完備）
◇十一月より五カ月間裁斷科開講

平地區共産黨員各位に

（二）　今成覺禪

三、僞瞞を捨てよ

また主義者のやることに僞瞞的手段とその惡宣傳が多く見られる。タトエば十一日の晩も『宗教はすでに共産黨と共同し、和同して社會革新に進んでいる、故に我々佛者にも共産黨と協同せよ』と申され、その實例として、赤岩牧師の入黨と基督眞宗寺院の社會事業とソ連の教會の自由を上げている。しかしソ連は宗教を禁止したが、これに失敗したため、『時的手段としてで、根本方針は宗教を禁じ、若くは排撃していることは無神論學校や、無神論圖書館、無神論展覽會等により無神的無宗教的紳士てきであると思う。こうしてこの紳士てきに實明な民衆を不幸に陷しているかに第三者にはかく見ゆるのである。我々日本の民衆は決してかかる事を希望していないと思う。故に眞に諸君の主義が人間てきにまた國家てきに正しきもの合理てきな民衆の幸福を將來するものであるならば、諸君の動きももつと伸してきであり、合法的であることを希望するものである。

四、不平等が原則

諸君は私の『生命が主であってその生命のあり方の上に『生活が主であってその上に生命がある』と云う。その是非は宗教の圈內になり哲學の問題になり、文學の科學的研究になりその解決は今後にまつべきものなればこの論爭は暫く略すとして、少なくも諸君の生活と云うことは衣食住に達成せられるものと信ずる。と云ったからとて資本主義者にこの二者がないと云うのではないただ彼がやるから我もやると云う對立てき暴力てきあり方はそこには永遠に合一點も、和牛てき事實も見出すことの出來ないと云うことを云うのである。思うに新しき運動を起している主義者は明かに古き資本主義者よりも進んで文化てきな、科學てきな、人類愛てきな道義てきなりとか誇りを多分に持っていることであらうと思う。それにもかかわらずその事實は非常な諸國の事實が示すように共産主義者のあり方は、余りにもファッショてきであり、反省する余地があると思うが否か。

五、共産黨では

私が勤物てき我執我欲の解脫を佛教の目てきとする、我執我欲を中心に各自個爭う時は絕對に全体てき幸福も和合もないことを說いた時、諸君は我執我欲は人間の正しき本能であるから、これを最も强張しなければならぬと云う。しかし佛教は欲を否定するのではない、否な正しき欲は佛教の生るるものである（當夜かく云ったが答える人がなかった）故に人間から我執を去り我欲の解脫淨化のない限り人間界に自由と手等と滿足とは絕對にないものである。然るに君達はこの根本てきの問題を否定する。故に君達の生活からは、斗爭と僞說は原則てきにこれを去ることが出來ないであろう。故に諸君の行動には、この二者は當然のあり方であって、これを惡であるとも、罪であるとも思ってもいないかに見えるかかる行動や考え方を以て罪とも惡とも思えないものは我我宗教の立場から見れば、正しき人間ではなく自己反省のない動物てはなく自己反省のない動物てあるかあるそれを諸君はその原則てきに滿足の出來る心主物從を根本てきに否定して原則てき一時てき物てき生活のみを追求するが故に、その手段の上に暴力と僞瞞不合理と非紳士てきなものが必然てきに生れて來なければならぬと思う。つねに科學てきあり方を主張し、これを誇りとする諸君の世界には、却って非科學てき生活の多分にあることを反省する余地があると思うが否か。

六、幸福と平和がない

幸福と平和とは、各人の心の中心の經濟的生活のみであり且つ物主心從の生活であることとは論する余地はあるまい。然るに諸君はこれに對して自由と平等と滿足とを要求するそうしてこれはまた人間の本能でもある故に私もこの三つの欲求を不合理として否定するものではない。しかしこれが物を中心にして行く限りこの三つの要求は絕對的に實現出來ないものであるそれは物にはこの三つの事實のないのがその原則であるからである即ち物は原則的に不自由であり、不平等であり不滿足であるからである。然るに若しこれを反對に心主物從として宗教的生活に入る時は原則てきにこの三つが滿足出來るのである。

對面交通愈よ實施

啓蒙運動強力に展開

十一月一日から道路交通取締規則の一部改正に伴って愈愈日本、初めての對面交通が實施される、縣交通安全協會平支部では實施期日を來月眞近に控えての啓蒙宣傳運動を強力に開始することになり縣から送付されたポスターピラ等の配布や市內各所に揭示板をたてる等大童だが平地區署では管內各町村中小學校に啓蒙講演會を行う準備を進め、田舍から市內に出る人達の啓蒙に拍車をかけることになった、一方自治署でも下旬を待って强力な啓蒙運動を行う他署員を動員して整理を實施する

對面交通は、從來の左側通行と變って人道は右側通行となり、自動車、自轉車等と對面となる爲現在の左側通行による背後からののりものの危險からすくわれるであろう

市民稅納入十九パーセント

金詰り市臺所に影響

七割方增收になった市民稅縣民稅の納入期日は先月末日迄となっていたが平市の四日現在の納入率は市民稅五百四十二万八千六百四四のところ百十万四千八十九円でわずか十九%という淋しさ、金詰りが此處にも響いているという譯である

六十七の老婆も參加

婦人指導者講習會

縣教委社會教育課主催の第四回婦人指導者講習會は五日午前九時から地方事務所會議室に平、石城、双葉の各婦人會指導者三十名が集って開かれた

當日講演の豫定であった民事部ギンバー女史は病氣のため、社會教育課山本ナカ女史による婦人會の企畫、財政、出版各委員會の行事計畫及會議等の指導が

母親教室愈よ開設

第一回は來る十四日

平保健所、助産婦協會、醫師會主催の『母親教室』開設期日は一週間に一日午前と午後に分け二時間に亘り教育する筈だったがこれを變更して一週間おきに一回、正午から三時まで三時間にわたり教育することになったなお第一回は十四日正午から公會堂日本間に開く第四回までの教科課目次の通り（日程は未定）（括弧內は擔當教師）

第一回　◇姙娠と性器（産婦人科實川先生）◇自宅の分娩の準備（助産婦）

第二回　◇姙婦乳幼兒の榮養（平保健所金澤榮養士）

◇赤ちゃんの衣類（助産婦）

第三回　◇姙娠中の衛生（産婦人科中田先生）◇分娩と産褥期乳兒の保育（助産婦）

第四回　◇乳兒の保育（小兒科志賀先生）◇乳兒の入浴（助産婦）なお榮養實習は希望に應じて保健所榮養室で行う

市の人事異動

平市役所では六日づけ市內の人事異動を次の如く發表した、今度の異動によると主任級では社會、保險兩主任が動き新規採用も四名あったがこれと同時に二十八名の昇給（各一級）も發表された

土木課技手　渡部俊治郎
技師に任ずる　金井榮一
土木課雇
技手に任ずる　社會課書記　神谷正典
社會課社會係主任を命ず　社會課社會係主任佐川充宏
保險課調定係主任を命ずる　保險課調定係主任兼保健主任を命ずる　保險課臨託　鈴木允
選擧監理委員會雇（廳務課）
雇を命ずる　稻崎のぶ和
選擧監理委員會雇を命ずる　坂本文成
雇に任ずる（經濟課統計係）（以上九月三十日附）　坂本三郎
雇に任ずる（社會課社會係）　青沼康裕
書記に任ずる（廳務課文書係）　八重樫秀雄
書記に任ずる（廳務課文書係）　石川巴
書記に任ずる（稅務課徵收係）（以上六日附）

炭鑛技術者懇談會

廿日、石炭局で開催

石石炭局では中小炭鑛の危機突破對策の一環として、現場監督や技術管理者を集め、ハッパ方法の改善切羽運搬の改善、採炭技術の確立等現場技術者の意見の交流を計り企業合理化推進の『中小炭鑛現場技術者懇談會』を二十日午後一時半から同局會議室に開く

鹿島農協總會

鹿島村農協組の臨時總會は八日午前九時から各村小學校で開く

アンゴラ兎飼育同好會

八日開く

磐城アンゴラ兎飼育同好會の發起人會（代表者西村孝藏氏）は八日午後六時から田町子供飛行機材料店で開催する、この同好會は趣味を本意としてのアマチャアだけの會員組織で現在石城郡下に僅か二百匹足らずのアンゴラを五カ年計畫で一万匹の飼育を目標として農村、一般に普及活動を開始しようとするものでその間內外情報の交換、機關紙發行、飼料用具種付の斡旋をして飼育成果に時時研究會も催す豫定で各方面から有望視されている、なお縣下の五カ年計畫は十万匹の豫定

瀧川氏全國レク大會に出席

平市レクリエーション協會理事瀧川保夫氏は縣教委教育長の推薦で二十六日から四日間東京で開かれる第三回全國レクリエーション大會に濱通り地區を代表して參加することになった

なお全大會の最終日二十九日のスクエアダンスコンクールには縣代表として出席する

電話加入申込

十五日まで

平電氣通信管理所內の二十四年度第三期新規電話加入申込みは來る十五日まで同所に申請されたい

毆り込事件

十二日判決

昨年八月中旬頃赤井村一帶の顏役として幅を利かし、たまたま縄ばり關係で仲の惡かった赤井炭鑛勞務係り白石正雄同炭鑛勞務係長谷川榮、同日曹炭鑛調度係長星野廣宅に五人共謀で毆り込みを決行、暴力行爲等を働いた赤井村赤井日曹炭鑛採炭夫瀧藤道（二〇）—傷害致死銃砲等所持禁止令違反—同佐久間學（二五）—銃砲等所持禁止令違反暴力行爲等處罰に關する法律違反—同遊撲沢相田郁夫（二一）同採炭夫年田義次（二一）—銃砲等所持禁止令違反、暴力行爲等處罰に關する法律違反—同窃盜調度係星野廣（二六）—傷害—にかかる暴力事件の判決言渡しは十二日午前十時から地裁小支部に開廷するなお星野は毆り込みを受けた際五被告の內一名に全治一ヵ月の傷害を與えたもの

いわき俳壇

率賓子選

台風の跡ゆるゆると蝶過ぎる　獨活野太陲（內郷）
ふるさとの草笛にたち日簡遲し　長谷川俊二（北海道）
柿病葉少女は澄めるめをもてる　佐藤武雄（綳谷）
炭竈の肺は秋天にはや疲れ　栗崎曉山（內郷）
蚊帳ほして小舟大河のあし間ゆく　片寄冬瓜（東京）
星河の屋遂に逢えざり月見草　村上露風子（沾小牧）
顚覆えぬ子と影二つ秋斜陽　酒井ちゑ（綳谷）
十五夜の背き靜寂に波寄せぬ　齋藤元巨（飯野）
女心一路映いてこぼれず渡琢沙華　永山千代（草野）
秋の雲巨船港に入り來る　久野智照（小名濱）
黑痕濃ゆく秋光草女露の墓　小島明坊（草野）
クロバーの花をひたして水迅し　津川孤舟（北海道）
熊避けの鈴つけ薪取るメノコ　田中紫虹（同）
鮭が來る沙流川となり落葉　菊地秋生（同）
人の世のせめて栞山子になりもして　須藤春峰（飯野）
口論の解けず桐の雨なる夜　畑井杜幽子（北海道）
チチロ徑行けばそそたり大山河　隅片川（湯本）

松崎眼科醫院
眼科　內郷第二イワキ隣
電話（綴）一二二番

靴と運動具は
何んでも豐富に揃い
㊥販賣の…
平市田町復興道路
大塚へ
電七七

良い茶
名山の
ふもとに葉茶屋
繫るなり
平市大町電五三〇
茶舖 山登園

眼科
安田醫院
平市紺屋町五一
電呼九五四番

火鉢入荷
有田燒、信樂燒
常滑燒
平市一丁目
電二九二番
㊀武田陶器店

高柳耳鼻咽喉科
高柳博明
平市驛前
電一一二

㊀傳統と性能に輝く
三德式籾摺機
ムサシ號籾擂機
三德萬石米撰機
丸六式製粉機
丸宮式脫穀機
ホーデ式精米機
中野三陽式精麥機
代理店
正金商會支店
湯田商會
平市紺屋町〔土橋〕

中古洋服、ズボン專門店
鈴藤へ
賣店　不二ストアー角
世界館前電八八六番